

医薬2社施設新增設

イノベーション特区が始動

大阪・彩都

大阪、京都、兵庫の3府県と京阪神の3政令指定都市が進める「関西イ

ノベーション国際戦略総合特区」で、初の具体的な事業が彩都ライフサイエンスパーク（大阪府茨木市）で動き出す。今年3月の第1次特区計画

ンチャーのジーンデザイン（同市）は研究センターを新設する。3階建て、延べ床面積1025平方メートルを予定。大阪大、独立行政法人医薬基盤研究所と共同で、副作用が少なく高い治療効果が期待できる核酸医薬に関する試験や開発を進める。

7月の第2次計画の認定を受けたペプチド研究所（大阪府箕面市）はサイエンスパーク内の同社研究所を増築する。アミノ酸が複数個つながったペプチドを利用した医薬品の主要原料を大量合成する計画だ。両社とも建物や機械への

投資に税額控除が認められる特区の投資促進税制の適用を受ける予定。

彩都のバイオ2社 研究所など新設へ

特区計画認定受け

大阪府は研究開発拠点「彩都ライフサイエンスパーク」（大阪府茨木市）に入居しているバイオ関連メ

ーカー「ジーンデザイン」（茨木市）と「ペプチド研究所」（大阪府箕面市）の2社が「関西イノベーション国際戦略総合特区」の計画認定を受け、今年度中に研究所などを新設する計画だと発表した。

2900平方メートルの用地を借りて研究所を増設する。医薬品の原料を製造しているペプチド社は4階建ての製造施設を増築する計画だ。

特区の計画認定を受けた企業は法人税の優遇措置により、事実上、施設の建設費や設備・機器の購入で公的支援を受けることができる。大阪府も独自に法人税を減免する方針だ。

読 賣 新 聞

平成 24(2012)年 8 月 14 日(火)

朝刊 8 面【経済】

日本経済新聞

平成 24(2012)年 8 月 14 日(火)

朝刊 27 面【近畿経済B】